

区の評価及び意見(区役所地域担当)

【此花区】 (受託者:大阪市コミュニティ協会)

取組実績の評価(1)

| 項目 | | ア 地域への支援実績に対する評価 | イ 支援の有効性に対する評価 | ウ 課題分析と改善策等に対する評価 |
|---------|--|---|---|--|
| 事業の実施状況 | (1)「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の実施状況 | ①地域課題の解決に向けて、ファシリテーション手法を用いながら意見交換をすすめた事については評価できる。 ②「コノまちインタビュー」では、課題解決に向けて子育て世代の意見を収集した事については評価できる。 ③自主財源確保に向けて、民間の機関が実施する各種助成金の情報提供を実施したことは評価できる。 ④梅香憩の家の利用促進に向けて、プロボノを活用し、企業からのアイデアを活用したことは評価できる。 | ①ファシリテーション手法の導入によって、活発な意見交換がなされたことは有効である。今後、あらゆる場で活用される事を期待する。 ②「コノまちインタビュー」は、地域役員以外の声を聞く手法として有効である。 ③恩貴島地域の自主財源確保に向けての支援について有効であるという評価は妥当である。 ④愛称募集に60件もの応募があり、新規利用者もあつたことら有効である評価は妥当である。 | 実情に合う課題分析がされ、必要な改善策が示されている。 |
| | (2)「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の実施状況 | ①中間支援組織として広報紙の発行や動画配信を行うことで、地域活動を発信していることは評価できる。 ②勉強会を行うとともに、エクセルによる帳簿作成など、適切な会計処理に向けて行っている事は評価できる。また、春日出地域においては、「巨大防災すごろく」の開催が地域のつながり事業となったことは評価できる。 ③西島における1泊防災キャンプに大学生が参加したことや、梅香島屋では新たな担い手層が参加し、避難所開設訓練・防災ワークショップを開催したことは評価できる。 ④広報づくりについては、区内の青少年団体とマッチングし、委託して作成したことは評価できる。 ⑤企業やNPO団体とマッチングさせることにより事業実施した事は評価できる。 ⑥「コノハナのハナシ」や「総務部会交流会」を開催し、地域間の担当者交流に努めていることは評価できる。 | ①フェイスブック・you tube 動画が地域間・他区地活協とを繋いでいるという評価は妥当である。 ②会計処理にパソコンを使用することで担い手の発掘につながった事は手法として有効であった。また、「巨大防災すごろく」事業が新たな人材による継続事業となり有効であったという評価は妥当である。 ③西島地域において、大学生との連携を通じて、他団体との連携協働の認識がされたことは、評価できる。 ④広報づくりについては、青少年団体とのマッチングをしたことで、広報紙の全戸配布できたことは、支援が有効であった。 ⑤企業・NPOの専門性発揮がされ地域活動で活かされている事は、支援が有効であった。 ⑥「コノハナのハナシ」については、課題解決のきっかけや多様な活動主体がつながる場として有効であった。 | 実情に合う課題分析がされ、必要な改善策が示されている。 広報紙の発行について、未だ発行できていない地域への支援を期待する。 |
| | (3)「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の実施状況 | ①運営委員会の作成・進行など地域で運営できるよう必要な支援され、個人情報保護についての重要性について説明された事は評価できる。 ②適切な会計処理がに向けて勉強会を定期的に開催し、個別対応も行っていることは評価できる。また、中間決算の際にも、活動の課題を話し合うきっかけづくりを仕掛けるなど有効な支援ができています。 ③広報支援については、必要な作成・助言ができていますと評価する。 ④事業報告書、決算等についても必要な支援が為されており、評価できる。 ⑤事業計画や予算計画について、各地域に適切な支援ができています事は評価できる。 | ①有効であるという評価は妥当である。 ②エクセル帳簿を活用することによって、新たな担い手ができたことは、支援が有効であった。 ③有効であるという評価は妥当である。 ④すべての地域で、決算報告作成がされたことは、適切な支援ができていたと考える。 ⑤事業計画、予算書検討会議での助言は、地域における課題が反映されたので有効であるとの評価は妥当である。 | 実情に合う課題分析がされ、必要な改善策が示されている。 |
| | (4)「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の実施状況 (区が「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」において設定したもの) | | | |

取組実績の評価(2)

| 項目 | | ア 地域への支援実績に対する評価 | イ 支援の有効性に対する評価 | ウ 課題分析と改善策等に対する評価 |
|---------|---|--|--|-----------------------------|
| 事業の実施体制 | (1)自由提案による地域支援の実施状況 (企画提案書(事業計画書)等で受託者が提案したもの) | 「プロボノ」による地域課題解決に向けた支援については、企業等に勤める人材のノウハウを学ぶうえで非常に有効である。 | 梅香地活協の憩の家愛称募集については、多数の応募もあり、新たな利用者の獲得にもつながり、有効であった。 | 実情に合う課題分析がされ、必要な改善策が示されている。 |
| | (2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制 | 体制については、地活協運営委員への支援など十分に機能している。 | 地域からの相談や問い合わせに適切に対応できており、体制に問題ない。スーパーバイザーの効果的な活動ができています。 | — |
| | (2-2)フォロー(バックアップ)体制等 | 新規事業等で増員が必要な場合も、適切に対応できている。地域からの問い合わせも、常に対応できるよう連携がされている。 | フォロー体制については問題ない。 | — |
| | (3)区のマネジメントに対応した取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織による避難所開設訓練・津波避難訓練について、地域と行政との中間支援組織的役割ができています。 ・地域活動協議会の会計については、要綱に従った適切な指示ができています。 ・課題に応じて、区役所担当部署と調整・連携ができています。 | 対応は有効である。 | — |

取組効果の評価

| 項目 | | ア 取組効果に対する評価 | イ 問題点の要因分析に対する評価 | ウ 今後の改善策等に対する評価 |
|---|-----------------------|---|--|------------------------------|
| (1)アンケート調査 ・地域が一体となって運営されている:〇〇%以上(区毎に設定) ・適切であると感じている:60%以上 ・自律的な地域運営に取り組んでいる:50%以上 | | <ul style="list-style-type: none"> ・支援が活動の役に立ったとの回答が、前回値(97.3%)から下回ったものの、88.7%と引き続き高い値が続いていることは、中間支援組織が適切な支援ができています結果と考える。また地域の活動や課題について話し合うことが活発になったとの評価が72.7%と高位値な回答となっている事は、この間地域を支援してきた結果と評価する。 | 支援に対する評価は非常に高率であり、地域に対する支援が適切に実施されていることは評価できる。 | — |
| | (2-1)「I 地域課題への取組」達成状況 | <ul style="list-style-type: none"> ⑥地域資源の有効活用について、支援により活動が始まっている。CB・SB化については、地域に潜在する事業化できる地域課題の掘り出しを行っていただき、区と連携しながら事業化していくことを今後期待したい。 ⑦他の中間支援組織の活用については、適切に実施できている。 <p><法人格の取得></p> <ul style="list-style-type: none"> ②取得の意義については、各地域へ説明されてきたが、今後地域からニーズ等があれば適切な情報提供に努められたい。 | 受託者の要因分析は適切である。 | 今後の改善策については、必要な改善が記載され評価できる。 |

| | | | | |
|----------|-------------------------------|---|-----------------|------------------------------|
| 目標等の達成状況 | (2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ) | <p>(2-2)「II つながりの拡充」の達成状況</p> <p>〈これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進〉 ②さまざまな広報媒体を使用して広報している。引き続き新たな住民の参加に向けて努められたい。</p> <p>〈地域活動協議会を構成する活動主体同士の連携・協働(担い手の拡大含む)【地域活動協議会内部】〉 ④防災・世代間交流事業・地域課題事業などで、団体通しのつながりや、担い手の発掘等、地域実状に沿った適切な支援がされている。</p> <p>〈地域活動協議会と他の活動主体との連携・協働【外部との連携・協働】〉 ②各地域において、新たな活動主体が参加し新たな取組が行われている。</p> <p>〈地域公共人材の活用〉 ②地域公共人材を活用した総務部交流会は、他の地域の取り組みを学ぶとともに、ファシリテーション手法を体験してもらうことによって、各地域でも実践してもらえる内容となっており、有効であった。</p> | 受託者の要因分析は適切である。 | 今後の改善策については、必要な改善が記載され評価できる。 |
| | (2-3)「III 組織運営」の達成状況 | <p>〈議決機関(総会・運営委員会等)の適正な運営〉 ④適切な支援が実施できている。 ⑤地域活動協議会の運営状況が周知されるよう、引き続き支援されたい。</p> <p>〈会計事務の適正な執行〉 ④適切な支援が実施できている。 ⑤適切な支援が実施できている。</p> <p>〈多様な媒体による広報活動〉 ③実施地域以外での活用を支援されたい。 ④適切な支援が実施できている。 ⑤適切な支援が実施できている。</p> | 受託者の要因分析は適切である。 | 今後の改善策については、必要な改善が記載され評価できる。 |
| | (2-4)「IV 区独自取組」の達成状況 | | | |
| | (3)その他の効果のあった内容 | アンケート手法を用いて、地域役員のニーズを把握し、支援内容に反映できている事は評価できる。また、各地域の防災訓練を案内し、自身の地域での訓練の参考となっている事は評価できる。 | 受託者の要因分析は適切である。 | 今後の改善策については、必要な改善が記載され評価できる。 |

総合評価

| | | |
|--------|----------------------------------|--------------------------------------|
| 総合評価 I | (1) 地域課題等の把握・分析・整理 | 適切に地域課題等の分析・整理できている。 |
| | (2) 目標(支援策)の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定 | 適切に目標が設定されており、そこに向けた戦略・シナリオが策定されている。 |
| | (3) 区のマネジメントに合った取組 | 適切な取組ができている。 |
| ↓ | | |

| | | |
|-------|----------|---|
| 総合評価Ⅱ | 総合評価(全体) | <p>アンケート調査結果にもあるように、地域活動協議会役員からの信頼関係の中で、新たな事業実施・人材育成についても忌憚の無い意見交換ができていていることについては評価できる。</p> <p>防災事業については、中間支援の役割が発揮され、行政と充分連携協力できている。</p> <p>組織運営については、支援により適正な運営が為されている。広報活動についても、地域の担当者と連絡を密に取り、定期発行に向けた支援ができている。未発行地域(1地域)についても、広報の意義を十分に伝え、早期に発行できるよう支援を期待する。</p> <p>また自律支援に向けては、あらゆる分野から既定の地縁団体に属さない方や地活協以外の活動団体の情報を収集し、地域とマッチングさせることによって、地域活動の前進を図っていることについては評価できる。</p> |
|-------|----------|---|